

いつも手元にやじろべえを!

とはいえ、常に取り込まれもせず、取り込みもしないでいることは難しい。「心の中にやじろべえを持とう!」と訴えてはみたが、いっそのこと実物としての「手作りやじろべえ」を持っていただくことを薦めてみたい。

日々の生活の中でよく目にする場所（例えばデスク・トイレ・お風呂など）、もしくはイラッと来やすい場所はどこだろうか？ぜひそこに、「やじろべえ」を置いておいていただきたい。

以下に「やじろべえの作り方」を付記した。この「幸福のやじろべえ」という心のものさしによって、安定して「取り込みも取り込まれもしない一体感」を感じられる生活を、多くの人に送っていただきたい。

かんたん工作

幸福のやじろべえ

【だれでもできる編】

用意するもの：菓子箱などのボール紙または牛乳パック

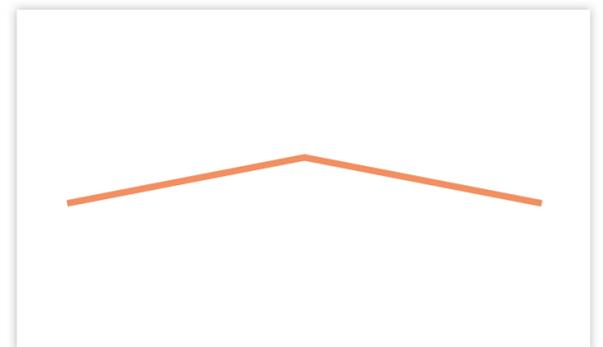
道具：ハサミ

つくり方：1cmx18cmくらいに紙を細長く切る。長さを半分に折る。

遊び方：人差し指で、とがったペンなどの上で、ゆらゆらとバランスをとる。

ポイント：

紙の幅がせまい方が簡単。幅を少し広くすると、バランスをとれる場所を探して遊べる。



【応用編】

用意するもの：ボール紙など

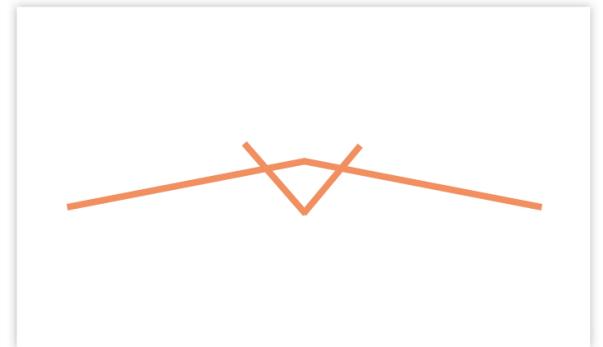
道具：ハサミ

つくり方：

①紙を1cmx18cm1本、1cmx4cm1本の棒状に切る。

②それぞれ長さを半分に折る。中心から1cmのところそれぞれ幅5mmまで切り込みを入れ、ほぞを作る。それぞれの紙をほぞが合うようにしてはめ、それぞれ角度を適宜つけて折る。

遊び方：人差し指に乗せたり、机のかどに置いてみる。



【消しゴムでつくろう】

用意するもの：消しゴム1個か2個、竹ひごかつまようじ

つくり方：消しゴムを3つに切って、1つの両側に竹ひごかようじをさし、残りの消しゴムを両側にさす。

遊び方：中心の消しゴムの下に2cmくらいの短く切った竹ひごかようじをさす。この部分を指にのせて遊ぶ。

【秋につくろう編】

用意するもの：どんぐり3個、つまようじ2本か竹ひご

道具：きり、木工用ボンド、ハサミ

つくり方：

①1つのどんぐりの両脇に穴をあける。ほかの2つはそれぞれ1カ所穴をあける。

②つまようじの2本か切ったたけひごの両側にボンドをつける。1つのどんぐりの両側に2本をさし、その両端に1個ずつ、どんぐりをさす。